

幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業における 中間成果報告会



遊び 学び 育つひろしまっ子!

豊かに感じ
気付く子

思いっきり体を
動かして遊ぶ子

遊びを
創り出す子

夢中でとことん
遊ぶ子

心を通わせて
遊ぶ子

令和5年11月15日(水)
広島県教育委員会
乳幼児教育支援センター

1

今年度の取組

2

架け橋期のカリキュラムの概要及び
作成プロセス

3

教師の指導・援助及び子供の学びの変化

4

次年度以降の展望

1 今年度の取組

「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プロジェクト (幼保小連携・接続の推進について)

【目指す姿】「遊び 学び 育つひろしまっ子！」の実現

1 「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・接続の 充実事業（幼保小架け橋プログラム事業再委託）

【取組内容】

- ① 定期的な協議会の開催
- ② 幼保小合同研修会の開催
- ③ 教育・保育内容の相互参観等の実施
- ④ 小学校における一人一人の子供の育ちや学びをつなぐ取組の推進・支援

【小学校における具体的な取組内容】

- 園・所から送付される指導要録等の活用
- 小学校教員等による園・所への複数回訪問**
→実施状況を調査するため、次年度から、「広島県児童生徒学習意識等調査」の小学校学校質問紙の調査項目とする予定です。
- ⑤ 架け橋期のカリキュラムの実施・改善



① 定期的な協議会の開催



② 幼保小合同研修会の開催



③ 保育内容の参観

2 小学校初任者研修「園・所における就業体験」

【目的】

- ・「遊びは学び」という乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方を理解する。
- ・園・所における子供の見取りや支援の在り方等を体感し、自身の小学校における教育活動の充実につなげる。

【内容】

- ① 事前研修
- ② 1日就業体験（保育補助、園・所長と振り返り）
- ③ 事後研修（幼児教育からの学び、今後の自身の教育活動の充実等に向けて）

3 幼児教育長期派遣研修

小学校教諭を幼稚園等に1年間派遣し、幼児教育の実践を体験することによって、本県の幼児教育の推進や幼保小連携・接続の中核を担う人材を育成。（令和5年度から、「幼稚園教諭普通免許状」の所有の有無に関わらず推薦が可能。）



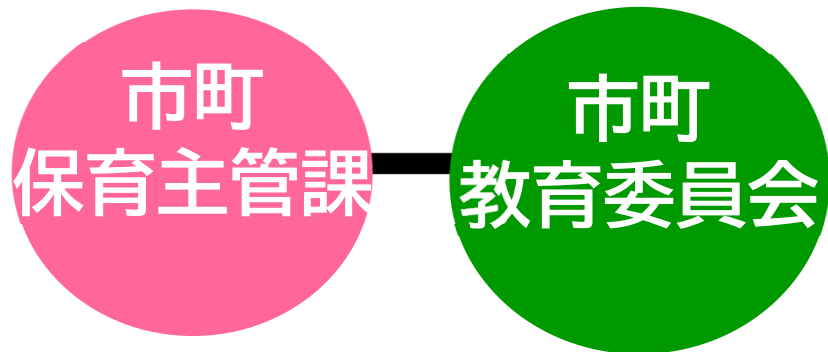
令和3年度派遣生の「スタートカリキュラム」の様子

4 各種研修

- ・小学校の幼保小連携担当教員対象の悉皆研修
- ・幼保小合同研修（教育センター専門研修講座）等

1 今年度の取組

1 「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・接続の充実事業



令和5年度は6市町指定

- ・継続2市町
- ・新規4市町

※これまでに延べ14市町を指定



→ **県内全域**で
幼保小連携・接続の取組の推進

1 今年度の取組

1 「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・接続の充実事業

広島県教育委員会の取組内容

- 市町教育委員会と保育所管課が連携して本事業に取り組む6市町を指定し、事業の一部を再委託する。
- 架け橋期のカリキュラム開発会議を設置し、年2回、開催する。

指定市町幼保小連携推進協議会（6市町）

<指定市町幼保小連携協議会メンバー>

教育委員会、保育所管課、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校等

架け橋期のカリキュラム開発会議

その他の市町
(6市町以外)

協議への参加

県

・乳幼児教育支援センターアドバイザーボード
・「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進検討会議

意見・助言

乳幼児教育
支援センター

関係課

・義務教育指導課
・個別最適な学び担当
・安心保育推進課
・学事課
・各教育事務所・支所

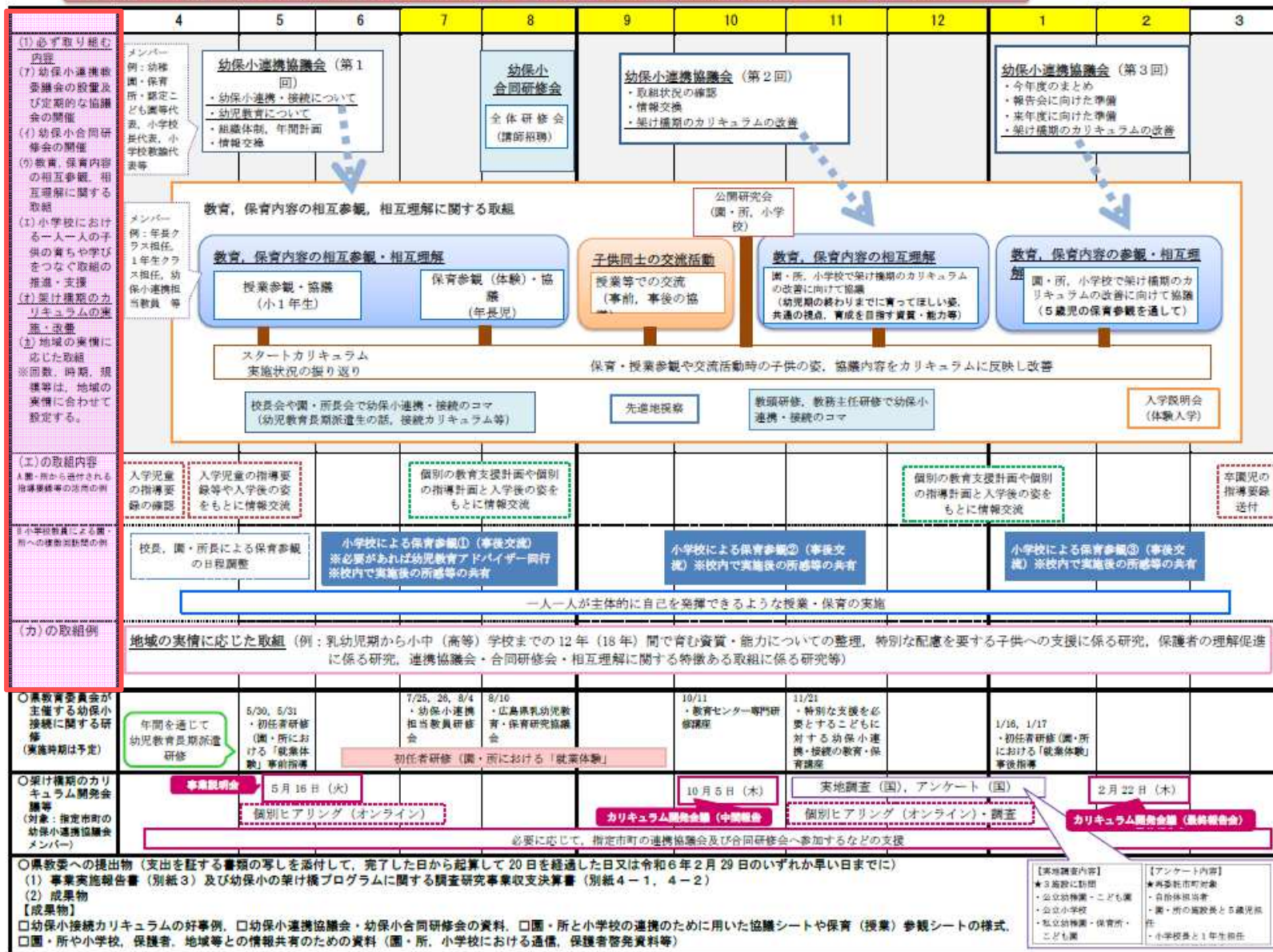
連携・協力

普及

・好事例、成果物等を、幼保小連携・接続の充実に向けた講演や指定6市町の好事例を共有する研修会等を通じて全県に共有

1 今年度の取組

【事業モデル】令和5年度「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・接続の充実事業 の流れ（例）



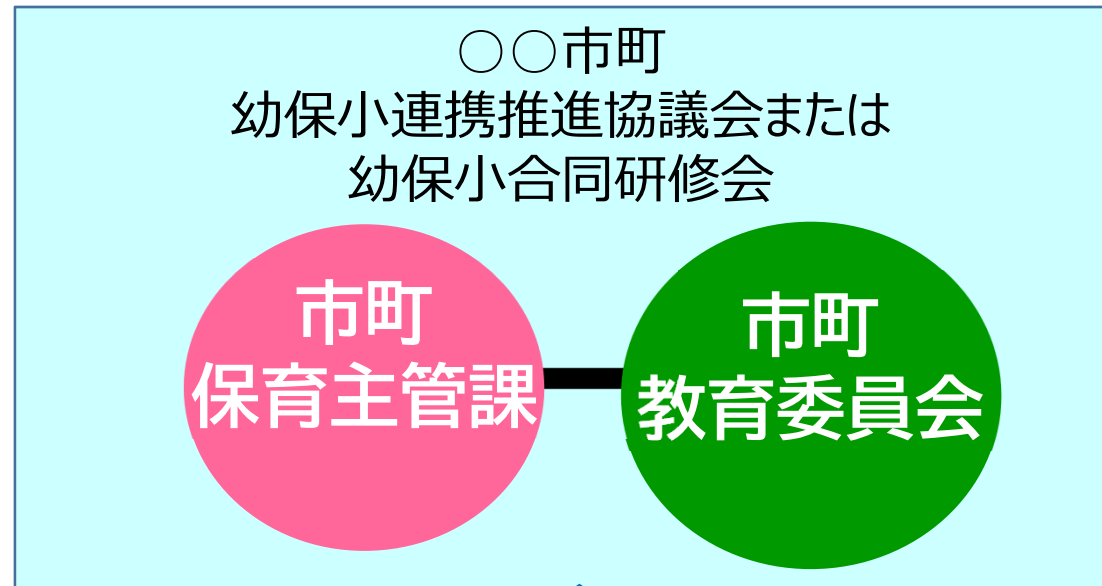
目指す方向性

・ 架け橋期のカリキュラムについては、**幼保小が協働**し、共通の視点を持って教育課程や指導計画等を具体化できるよう、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりとし、育成を目指す資質・能力を視野に入れながら策定できるよう工夫する。そして、**幼保小の先生が一緒に振り返って評価し、改善・発展させていく。**

・ 取組全体を通じて、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、**園長・所長のリーダーシップと自治体の支援の下、園と小学校の先生が、子供の育ちを中心に据えた対話を通して相互理解・実践を深めていく。**

1

今年度の取組

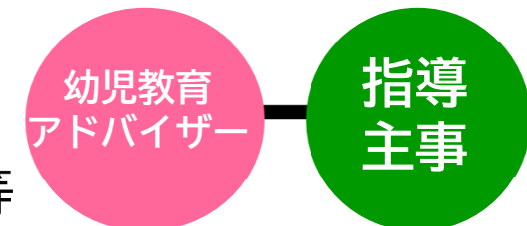


広島県教育委員会乳幼児教育支援センター

○講話、協議、演習等

- ・ 幼保小連携・接続の取組の意義、幼児期に育まれた資質・能力等
- ・ 県内の幼保小連携・接続の取組の好事例紹介
- ・ 架け橋期のカリキュラムの改善の視点

○指導案検討、授業参観、保育参観、指導助言 等



2 架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

架け橋期のカリキュラム開発会議

1 日 時

令和5年10月5日（木）13:30～16:30

2 対象者

○令和5年度「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・接続の充実事業の
再委託市町連携協議会の構成メンバー及び行政担当者

○市町・市町教育委員会担当者

3 内 容

○実践交流

「『幼保小連携協議会』や『幼保小合同研修会』の充実に向けて」

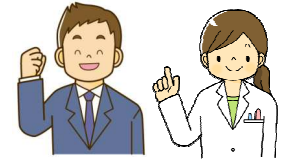
○有識者による講演

○協議

「架け橋期のカリキュラムの改善に向けて」

3 教師の指導・援助及び子供の学びの変化

小学校教員から



- 園の生活の要素を取り入れ、保育所の先生方とも情報を共有することで、一人一人の子供たちの思いに寄り添った指導を考えるようになった。
- これまで、児童に失敗させないように先回りをして準備や声かけ、指示をすることが多かったが、今年度は、あらゆる場面で、私と児童とが相談し合う場を増やした。
- 子供たちに肯定的な声掛けや子供の考えを否定しない声掛けをすることを意識したことで、子供が手をよく挙げるようになったり、チャレンジしようとしたりする姿が見られるようになった。
- じゃんけん列車と数の学習を結び付けて行ったことで、児童が自ら考えようとするにつながったのがよかった。

3 教師の指導・援助及び子供の学びの変化

幼稚園・保育所・認定こども園から



- 子供達が小学校のことを知ったり、進学を期待することができるような取組を5歳児の保育活動に設定することも、重要なこととして考えるようになった。
- 指導計画においては「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点をもって子供の姿を捉えることによって、幼稚園教育の成果を小学校教育へ繋げていくことができるように意識している。
- 初任者の先生に伝えていくということで、幼児教育の何を伝えるか、どう伝えるかを考える機会にもなり、幼稚園の教育で大切にしていることを振り返るとともに、伝えていく力が幼稚園の職員にも求められている、研修を重ねていかななくてはいけないと実感することができた。
- 1年生との交流が刺激となり、“まねしたい・もっと〇〇したい”の気持ちが強くなり、言葉での表現や文字・数などへの興味・関心が高まった。

4 次年度以降の展望

目指す姿

- ・ 小学校においても、本県の乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方が共通認識されている。
- ・ 全校で、園・所等との協力のもと、幼保小合同研修や公開保育・公開授業などの幼保小連携に関する様々な取組や、接続を見通して編成・実施された教育課程の不断の見直しが行われるなど、子供の育ちと学びを円滑につなぐための教育活動が実践されている。
- ・ こうした取組を通じて、小学校へ入学した子供が、安心感をもって新しい学校生活に円滑に移行している。

令和5年度 ○○保育所 アプローチカリキュラム

保育目標 お互いの良さを認め合い、生活や遊びの中で一つの目標に向かって力を合わせることに
により、達成感や充実感を持ち、自分自身を高める。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】

- ◎健康な心と体 ◎自立心 ◎協同性 ◎道徳性・規範意識の芽生え ◎社会生活との関わり
- ◎思考力の芽生え ◎自然との関わり・生命尊重 ◎数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ◎言葉による伝え合い ◎豊かな感性と表現

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	Ⅰ いっしょにあそぼう!			Ⅱ やってみよう!			Ⅲ どうしたらいいかな?			Ⅳ じぶん だいすき!ともだち だいすき!		
子どもの姿	○新しい環境の中で不安や緊張も見られるが、年長児になった喜びを感じ、意欲的に活動に取り組むがトラブルもある。 ○興味のある事や、嬉しかったことなどを、みんなの前で素直に発表することが増えてきている。			○友だちとのつながりを深め、思いを伝えあいながら遊びを進めていく。 ○相手の気持ちを知り、一緒に遊ぶことが楽しくなる。 ○夏ならではの遊びをダイナミックに楽しんでいる。			○行事を通してみんなで一つのことを成し遂げる充実感、達成感を味わうようになる。 ○少し難しい課題に対して、挑戦する姿が見られる。 ○友だちや身近な人の気持ちを察し自分の気持ちを抑えるなど、我慢ができて優しい言葉を素直に言えるようになる。 ○園外での様々なことに興味をもって遊びに取り入れて楽しんでいる。			○就学に向けて自覚と自信を持って活動をする。 ○様々な人にふれ、感謝の気持ちを持ち、気持ちを伝える。 ○自分の行動に責任をもち様々なことを最後までやり遂げ満足感を持つ。 ○友だちの思いを大切に、協力して遊びを楽しむ。		
あそび＝子どもの活動	ねらい	*友だちを意識し、自己発揮をして過ごす。		*友だちと遊ぶ中で、気持ちを伝えあい、工夫し遊びの幅を広げる。			*共通の目的に向かって、目的やルールを考え話し合い、お互いの気持ちに気づきながら遊びを進め楽しむ。			*友だちと積極的に関わり、目的を共有し、協力して最後までやり遂げ、達成感を友だちと味わう。		
	経験内容	*自然や生き物への関心を深め、図鑑などでも調べたり植物などの観察を行う。 *感じた事や想像をしたことを話したり表現する。 *「○○っ子リズム」 (年間通して)		*様々な活動を通して、運動機能を高め活発に遊ぶ。 *集団遊びを通してお互いの役割に気づきながら友だちとの会話を楽しむ。 *どろんこ遊びやプール遊びを通して、水の性質や特徴を発見し関心を持つ。 *身近な素材を組み合わせ、工夫して遊ぶ。 *日々の活動を通して友だちと意見を出し合いながらすすめる。 *友だちに支えられながら苦手なことへもチャレンジする。 *「○○っ子リズム」			*発見したことや体験したことを遊びに取り入れる。 *自然物を制作などに活用し、遊びを通して自然の移り変わりを十分に楽しむ。 *いろいろな歌や踊りを楽しむ中で友だちとイメージを共有し自分たちで表現方法を考える。 *昨年の年長児のリズム遊びの姿を思い出し、難しい内容をしようとする。 *運動会・発表会を経験する中で仲間意識を深め充実感・達成感を味わう。 *「○○っ子リズム」			*一人ひとりの安全に対する認識や関心を高め、気をつけて行動する。 *文字や数字など取り入れた遊びを十分に楽しみ、興味や関心を深める。 *表現したいことを材料や方法を選び、友だちと工夫をして遊ぶ(作る) *在園児へ気持ちを込めて絵を描いたり手紙を書いたりする。 *思い出(製作等)整理しながら1年を振り返る。 *「○○っ子リズム」		
	環境構成・援助	・遊びの中で子どもたちが、意欲的に取り組める場や雰囲気大切に作る。 ・一人ひとりの生活リズムや行動に合わせて、個々の気持ちに応じてゆとりをもって関わっていく。 ・子どもと一緒に生活や遊びの場を考え、つくることで5歳児になった実感が持てるようにする ・リズムに合わせて体を動かすことが楽しめるようになる。		・子どもたちの話し合いから必要なものを一緒にそろえたり探したりして、みんなで行う楽しさを感じられるようにする。 ・自分の思いを、素直に表現していけるような場を作っていく。 ・子どもとアイデアを出し合いながら遊びができるよう準備する			・一人ひとりの挑戦する気持ちや、みんなで一つのことに取り組む楽しさを伝え、頑張っている姿をほめる。 ・一人ひとりの頑張りを職員全員で連携を取りながら、励まし合い、認め合えるよう見守っていく。 ・自分たちで目標に向かって考えたり、工夫して進めていけるよう環境を作っていく。 ・クラス全体の活動を通して苦手なことに挑戦したり自分の力を発揮する大切さを知らせる。共通の目的を達成したときはクラス全体で喜び合い自身につなげていく。			・保育所生活での喜びや周りの人への感謝の気持ちを感じ伝えあう。 ・様々な経験や対人関係の広がりを通して、自立心を高め、就学への意欲を持つ。 ・一人ひとりの安全に対する認識や関心を高め、気をつけて行動する。 ・文字や数などを取り入れた遊びを十分に楽しみ、興味や関心を十分に深める。		
家庭との連携	*保育所生活を伝え、家庭での様子を聞き生活リズムを整える。 *子どもの頑張ろうとする気持ちや行動を保育者や家庭で見守りあう。 *感染予防の協力を得ながら保育を進める。 *個人懇談で頑張りや課題を伝えていき保育所と家庭との様子を連携していく。		*連携を取りながら、子どもを温かく見守りながら励ましていくことの大切さを理解しあう。 *子どもの楽しむ姿を共感する。 *夏の健康管理の連携を取る。			*様々な行事を通して頑張っている姿を伝え、自信を持って活動できるような関わりが持てるようにする。 *子どもたちの目標や達成したことを伝え、共に喜んでいく。 *運動会を行い、園での子どもたちの様子を参観してもらう。			*就学に向け、子どもの成長を伝え共に喜び、安心感を持って意欲的に過ごせるようにする。 *個人懇談を行い、就学に向けての悩みや取り組みについて話をしていく。			
行事	*春の遠足 *保育参加 *内科・歯科検診		*じゃがいも堀り *野菜の苗植え・収穫 *検尿検査 *参観日(七夕) *クッキング(カレー) *プール遊び			*○○平和の集い(おりづる) *クッキング(かぼちゃクッキー) *お店屋さんごっこ *さつまいも堀り *運動会 *発表会 *バス遠足 *ふるさとまつり *内科・歯科検診			*お楽しみ会 *春をよぶ会 *お別れ遠足 *おわかれ会 *卒園式			
連携の小学校	*保小連絡会(小学校参観・保育所参観) *○○小学校運動会就学児かけっこ参加		*保小連携(年長児見学・個々に連携)			*○○っ子リズム交流(年長児・小学校1,2年) *小学1年生との交流(○○山へ) *○○小学校運動会就学児かけっこ参加			*保小連絡会(○○小学校・○○小学校連携) *入学説明会(○○小・○○小) *1年生交流会・5年生交流会(○○小)			

学校教育目標

豊かな人間性と確かな学力をもち、自ら伸びる子どもの育成 ○やさしい子 ○かしこい子 ○たくましい子

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
育ってほしい児童の姿	<p>入学当初の児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 体を動かしたり、物を作ったりするのが好きで意欲的に取り組む。 小学校に対する期待感、がんばりたいという気持ちを持っている。 友達と一緒に過ごすのが好きだが、うまく思いが伝わらないことがある。 失敗や間違いへの不安が大きく、自信がない子が多い。 <p>安心</p> <p>お兄さん、お姉さん、友達や先生と一緒に過ごすのが楽しいな。</p> <p>得意、楽しい、がんばりたいことがあるよ。今日は何をしようかな？</p> <p>困った時はどうすればいいかわかったよ。友達や先生がいて安心。</p> <p>成長</p> <p>お互いの話を終わりまで聞き合っ、友達と一緒に考えると新しい発見があって楽しいね。</p> <p>こうすれば友達に自分の考えが伝わるよ。</p> <p>自立</p> <p>なぜ学校のルールがあるかわかったよ。みんなで守ろう。</p> <p>みんなが気持ちよく生活するために協力しているんだね。私もがんばるよ。</p> <p>できるようになったこと、分かったことが増えてうれしいな。</p> <p>期待する児童の姿</p> <p>主体的に自己を発揮しながら学びに向かう</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇学校が楽しいと感じ、同学年や異学年の友達や先生と関わる。 〇適切な言葉づかいで自分が伝えたいことを友達や先生に伝える。 〇学校のルールを守り、係活動や日直などの自分の役割を積極的に果たす。 											
主な学習活動	<p>生活科を中心とした総合的な学習活動の充実 大単元名「がっこうたのしいね」(32H)</p> <p>1次 がっこうのことがしりたいな (15H) 生活「がっこうだいすき」(6H) 国語「どうぞよろしく」「おはなしたのしいな」(3H) 図工「すきなもののいっばい」(2H) 音楽「うたっておどってなかよくなろう」(1H) 体育「体づくり運動遊び」(2H) 特活「おいしい給食」(1H)</p> <p>2次 がっこうをたんけんしよう (9H) 生活「がっこうだいすき」(7H) 国語「なんていおうかな」(1H) 算数「かずをさがそう」(1H)</p> <p>3次 がっこうでみつけたよ (8H) 生活「がっこうだいすき」(4H) 国語「こんなものみつけたよ」「ききたいな、ともだちのはなし」(3H) 音楽「みのまわりのおとにみみをすまそう」(1H)</p> <p>関連的な学習活動 国語「とじょかんへいこう」算数「なまづくりと数」 体育「器具・遊具を使っての運動遊び」特活「1年生になったよ」「安全な登下校」「係の仕事がんばろう」 道徳「たのしい学校」</p> <p>生活科を中心とした総合的な学習活動の充実 単元名「〇〇だいすき」(25H) 生活「たのしいあいきいっばい」(12H) 国語「知らせたいな見せたいな」(9H) 図工「えがおつうしんにっこりニュース」(3H) 道徳「いつもありがとう」(1H)</p> <p>関連的な学習活動 国語「友だちのこと、しらせよう」「てがみでしらせよう」 算数「なんじ、なんじはん」「かたちあそび」 特活「仲よく遊ぼう」体育「ゲーム」</p> <p>1年生年間指導計画に基づく学習活動の実施 (総合的・関連的な学習活動を含む)</p>											
人・環境・こと等	<ul style="list-style-type: none"> 児童の話や様子を見守ったりして不安、期待を受け止め、信頼関係を築き、学校全職員に関わり、日常的に細やかに連携できる体制を整える。 異学年と一緒に朝の準備をしたり、遊んだりして安心して楽しく過ごせるようにする。 自分の思いを表現したり、友達の考えを聞いたりしてお互いの多様性を認め、友達と一緒に学習、生活をする良さが感じられるようにする。 挑戦する姿や友達と協力している姿などに対して肯定的な評価を行い、自信を持たせ、お互いに認め合い安心して過ごせる雰囲気づくりを行う。 登校しての準備や生活の流れ、施設の使い方等、全ての児童に分かるように絵や写真を活用する。 4月の学級朝会を多くする等、柔軟な時間設定をすることで登校から1時間目までをゆったりと過ごせるようにする。 総合的・関連的な授業づくりや、体験的な活動、具体物を使った学習、視覚支援等を行い、学習と生活がつながるようにする。 幼児期に親しんだ遊び、歌、読み語り、ゲーム等の活動を取り入れたり、机の配置や掲示物等を工夫したりして、学びやすい環境づくりをする。自由にしたいことを選んで取り組めるコーナーを教室の一角に作る。 											
園・所との連携	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期にできるようになっていたことが、さらに伸びるよう園、所と情報共有をする。 保育所の子供達や先生方と一緒に校庭等で遊んだり、先生にグェスティーチャーとして来校してもらったりして、交流する。 1年生の授業を園、所の先生が参観し、児童についての交流をする。 											
組織との連携	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせや登下校見守り等のボランティアの方々等、児童への声掛け、見守りを通してたくさんの人に支えてもらう。 児童が、安心して小学校生活が送れるよう、幼保小連携協議会、教育委員会等と連携する。 											
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 朝の過ごし方、学校での様子について通信等で発信し、情報を共有する。 P T A総会や学級懇談会等でスタートカリキュラムについて説明し、保護者の方に安心感を持ってもらう。 学校生活の様子や見通し、家庭学習などについて保護者に伝え、児童の入学時の不安や緊張を理解し、小学校と家庭が信頼関係を築き、協力して児童を支えられるよう、連携を行う。 											
備考欄	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級担任との連携を密に行い、特別支援学級在籍児童と一緒に1年生としての集団づくり、お互いが安心できる居場所づくりを心掛ける。 行事や学習活動のねらいを保護者や地域の方に伝え、多くの人と関わりながら活動できるようにする。 											